



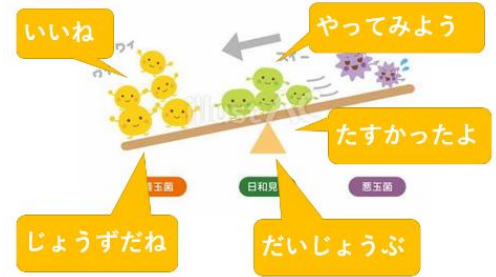
大 樹

岩田小学校たより No 7
令和6年9月25日

～志をもち 進んで考動する子～

岩っ子は 毎日 元気いっぱい!

少しずつ秋の訪れを感じるようになってきました。暑さで外に出られないときは、教室で各自過ごしたり全校で合唱練習に取り組んだりするなど、工夫して過ごしていましたが、気持ちの良い気候に合わせて、一輪車練習や外遊びが活発になっていきそうです。



9月3日(火) 全校会礼 校長の話

樹(みき)のステージが始まりましたね。雨や暑い日が続いていますが、岩っ子のみんなは落ち着いた生活ができていて、すばらしいなと思います。樹のステージのキーワード「協力」、協力している学級の姿について考えてみたいと思います。

生き物の世界には全体を10として、2と6と2に分かれる法則があるそうです。二つの2は正反対の性格で、真ん中の6はどちらか強いほうになびく性格です。

例えば、細菌の世界です。2は善玉菌、よい菌です。もうひとつの2は悪玉菌、よくない菌です。そして6はどちらかになびく日和見菌です。善玉菌が強いと6の日和見菌は善玉菌になります。それが人の体によい発酵食品となります。納豆、漬物、チーズ、ヨーグルト、パン、みそなどが発酵食品の代表です。発酵は食べ物のおいしさや栄養、保存性を高めるだけでなく、腸などをきれいにしてくれます。しかし、2の悪玉菌が強くなると6の日和見菌はそっちになびき、悪玉菌となってしまいます。それが腐敗、腐るということです。

人間界でいえば、2の悪いマスコミが新聞やインターネットで「日本はたいへんだ」「不況だ」などと言いつけると、6の普通の人々は流されて、「家もたいへんだ」「お金が減っていく」と叫び出します。そうすると、合わせて8の人々がマイナスの考え方になってしまいます。

細菌や言葉の研究者は、「たいへんなときは、2の善玉菌であることが大切で、そのためには強い志と前向きさが必要です」と言っています。2の悪玉菌、マイナスの人々が何を言っても、「たいへんくらいがちょうどいい」「うまくいかないほうが燃えるぜ」「失敗は成功のもと」と言い続けることが大切なのです。

さあ、これから樹のステージ、キーワードは協力です。10月には運動会、11月の終わりには大樹祭があります。協力が必要なときであり、楽しみですがちょっとたいへんなときでもあります。そんなとき、岩っ子には2の善玉菌か、前向きになびく人になってほしいと思います。学級の中をあたたかなプラスの言葉「いいね」「やってみよう」「上手だね」「助かったよ」「大丈夫、大丈夫」などで満たし、発酵させ、健康でおいしい学級にしていきたいと思います。おいしそうな学級、これが協力している学級の姿です。

もう一つ、パンを発酵させるためのコツは生地をよくこねることです。学級でいうとよく話し合うことです。プラスの言葉だけでうまくいかないときは、よく話し合ってください。そのときもマイナスのことを言うのではなく、どうしたらうまくいくのか前向きに考えましょう。

おいしそうな学級になることを楽しみにしています。

【岩田小ギャラリー】HP も御覧ください！ 磐田市立岩田小学校 (city-iwata.ed.jp)



1年生 算数の学習



2年生 道徳の学習



代表委員会



3年生 草木染め体験



4年生 音楽の授業



5年生 お茶の入れ方



ジュビロ磐田選手訪問

9月26日(木)27日(金)に、6年生は修学旅行に出かけます。
たくさん思い出ができることでしょう。元気に
行ってらっしゃい！